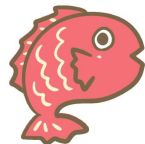


令和2年度 学校教育目標 「自ら学び 心豊かに生きる子」
重点目標 「なりたい自分をもって 本気で取り組む子」
～自分からやるよ つづけてやるよ～

校訓



島田市立島田第二小学校 学校だより 令和2年9月号 9月11日発行



「なりたい自分」になるには？

校長 天野 順司

今年の二小の目標は、「なりたい自分をもって、本気で取り組む子～自分からやるよ 続けてやるよ～」です。1学期の始業式でも児童に話したのですが、その後休校が続ぎ、児童自身が自分の「なりたい自分」について、考える時間がとれずにいました。そこで2学期は全学級でしっかり時間を取り、「なりたい自分」を自分で決めました。学年によって、その姿は違うと思いますが、いくつか紹介します。

高学年：「看護師になりたい」「みんなの役に立てる人になりたい」「人の意見を受け入れられる人になりたい」「誰からでも話しかけられる人になりたい」「水族館の飼育員」「は虫類を研究する人」「人と場を大切に」「自分の意見をはっきり言えるようになりたい」

中学年：「お母さん方に世話になっているから自分ができることはできるだけ手伝いたい」「困っている人を見かけたら声をかけてあげたい」「将棋名人になりたい」「誰にでもさん付けができるようになりたい」「自分に厳しく、みんなに優しく、友達には少し厳しい人になりたい」

低学年：「今よりずっとずっとずっとずっとずっとずっとずっとずっと字をうまく書きたい」「名前を覚えて、みんなともっと友達になりたい」「50m走が8秒台になりたい」

職業を書く子もいれば、人としての性格、今年の目標など様々です。これらの「なりたい自分」を目指し、自ら努力し、それを続けられる子になってほしいと願っています。

先日静岡新聞に掲載された島田市の高校生の投稿が目にとまりました。紹介します。

今の私が人のためにできることは何だろう。そう考えていた時に学校へボランティアの募集がきました。私はそのボランティアに参加することにしました。ボランティアの内容は、無料で子どもたちに食事を振る舞う「子ども食堂」。私はそこで、主に料理のボランティアをしていました。自分が作った料理を人に食べてもらうという幸せを感じました。このボランティアを通して思ったことは「誰でも人のために行動できる」ということです。今の社会には助けを必要としている人が多くいると思います。そのために私たちができることは何か。それはボランティアだと思います。一人一人が誰かを思うことで救われる人がいます。私は今後も自分にできることがあれば進んでボランティアをしたいと思っています。自分が誰かの力になれることを願って。

この高校生は、「人のためにになりたい」という「なりたい自分」をもって、ボランティアに挑戦し、「誰でも人のために行動できる」と気づいています。自信をつけて（自己肯定感が高まり）、自分の生き方を見つけています。「なりたい自分」には、自ら何かに本気で取り組んだり、挑戦したりしなければいけないのです。子どもたちを取り巻く地域、学校、大人は、子どもの「なりたい」を育み、挑戦を褒め、失敗を励まし、努力する姿を応援する存在であり続けたいです。